



春を呼びよせる 子ども達の成長 ～今年度最後の参観日～



校長 川西 真理

一雨ごとに、春の足音が近づいてくるのを感じる頃となりました。植物は我々よりはるかに季節に敏感で、花壇の金盞花は春を待ちきれないとばかりに花を開かせはじめています。

さて、去る2月22日には、本年度最後の参観日を行いました。保護者の皆様、また地域の方々もたくさんお越しくださいました。ありがとうございました。

毎日1回は必ず各教室での学習の様子を参観しているつもりですが、今回の参観日の児童の様子には日々の観察とは違った驚きと感動がありました。

2年生は、生活科の学習で「2年生でがんばったこと」「小さかった頃の自分」の発表の2本立てでした。3人で45分間の時間をつなぐのはなかなか大変です。大丈夫かなと心配していたのですが、その日の朝、一人の児童が「ぼくは作文が4枚書けるようになった！」と誇らしげに語っていたとおり、それぞれの児童が経験したことや感じたことをしっかり言葉に表すことができていました。

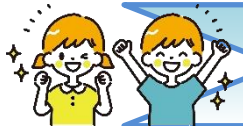
3・4年生は、総合的な学習と国語の合科でした。総合的な学習で海の環境について調べたことを皮切りに、SDGsの17の目標の中から、自分が興味のある項目を選び、現状と課題、さらに自分の考えも発表していました。大人顔負けのICTを駆使したプレゼンテーションの素晴らしさもさることながら、課題に対して自分の考えをきちんともっていることにとっても感心しました。また、3・4年生は日頃の授業から助け合って学習することが増えています。今後の社会で必要な力（自分の考えをもち、伝えること、他人と協力して課題を解決すること）を確実に身につけていると感じました。

5・6年生は、国語の複式授業でした。学習リーダーを中心に、自分たちで時間を管理しながら学習を進めるスタイルは、さすが高学年です。日頃の授業の積み重ねを感じます。しかし、今回目を引いたのは、6年生の「聞いてほしい、この思い！」でした。「練習で本気を出さないと本番ではうまくいかない」「頑張ろうとする気持ちの大切さ」「自分の力で乗り切ることの尊さ」「協力することの安心感」など、体験して得られたことを、ただ「楽しかった」「大変だった」だけでなく、これから生きていくうえで「大切な価値」として、自分の中に息づかせている、6年生の内面の成長に目頭が熱くなりました。

また、なかよし学級では、「身体能力の向上」「スポーツを楽しむ」の両観点から、ボール運動が行われていました。この1年間で、自転車を自在に乗りこなすことから始めて体を動かす楽しさが無理なく身につけてきています。楽しさがその他の活動への参加意欲をも引き出しています。

わずか、1単位時間の参観日でしたが、島中小に春一番が吹き抜けていく感覚を覚えました。

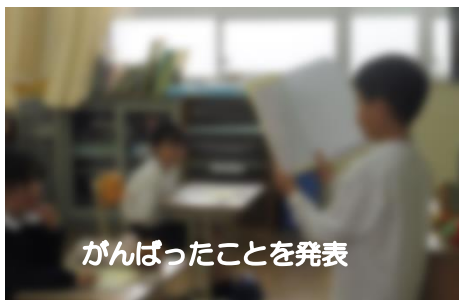




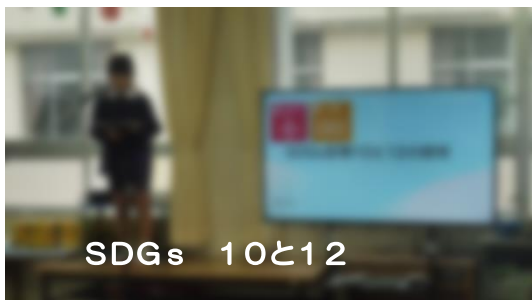
成長の証！今年度最後の授業参観



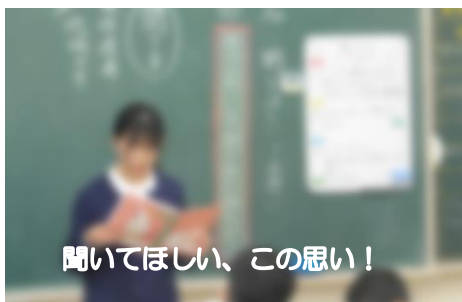
ボール運動



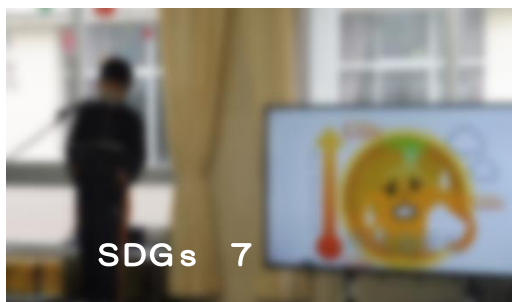
がんばったことを発表



SDGs 10と12



聞いてほしい、この思い！



SDGs 7

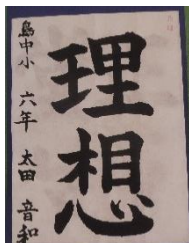


聞いてほしい、この思い！



作品にも成長の証が！
←ひまわり学級作品

町書き初め展
推选作品 →



自分の健康に関心をもとう ～学校保健安全委員会～



参観日に合わせて第2回学校保健安全委員会を開きました。テーマは「自分の健康に関心をもとう～歯と口の健康～」でした。前半は児童健康安全委員会の発表で、島中小学校の歯磨きの実態が明らかになりました。後半は学校歯科医の岡田秀樹先生からご講話をいただきました。児童は、岡田先生が提示した歯肉炎を患った人の画像を見て、一気に「口の健康」が自分事であることに気づいたようです。その後の「改良バス法」による「歯周ポケット」の磨き方の映像も真剣に見ていました。歯は一生の宝物です。これからも、歯や口だけでなく自分の体や健康に関心を持ち続けてほしいと思います。

チャレンジ目標達成！～地域ピカピカ大作戦～



本年度、チャレンジ目標のひとつにあげていた「地域ピカピカ大作戦」が2月15日に、目標であった6回に到達しました。今回は、班長に立候補する児童が多く、少人数でのグループ活動も活発でした。最後の班長代表あいさつでは、「来年もがんばりましょう」という声がありました。

